

牛久：学校周辺に見る自然

第21号 牛久自然観察の森

2016年9月13日発行

＜ 夏の終わりに、牛久自然観察の森を歩く ～ ⑤ カマキリ ＞

9/2、夏の終わりに歩いた牛久自然観察の森。今回は、カマキリなかまの仲間です。



ハギの枝えだにまぎれて獲物えものを待ちぶせするオオカマキリ。

観察舎のハギの枝えだにかくれて、オオカマキリが獲物えものを待ちぶせしていました。花にやってくるチョウやハチなどをねらっているのでしょうか。パッと見ただけでは気がつきませんね。

「ノウサギの丘」には褐色かつしよくがた型のココマキリが、梅林のまだ背せいの低いネムノキにはハラビロカマキリがいました。どちらも、動かなければ気づかないほど周りまわの景色けしきにとけこんでいました。また、カ



マキリはハンターで、生きたえさしか食べないといわれますが、竹ぐしに刺した刺身さしみなどを目の前で動かすと食べることや、水をよく飲むこと、ヨーグルトなども食べることを小学3年生がココマキリたしで確かめています

(
<https://www.shizecon.net/award/detail.html?id=373>).

【理科支援員：宮内】

褐色かつしよくがた型のココマキリ(左)と、お腹なかが太く見えるハラビロカマキリ(右)。